

【役員対象情報誌 発行部数:300部 年4回(6月・9月・12月・3月)下旬発行】

発行 社会福祉法人 静岡県身体障害者福祉会
〒420-0856 静岡市葵区駿府町1-70
TEL:054-252-7829 FAX:054-255-2011
E-mail:syougaisya@za.tnc.ne.jp
発行日 平成27年12月25日

『手話言語条例』富士宮市が県内初制定 県も検討に着手

静岡県内初となる『手話言語条例』が12月14日、富士宮市議会11月定例会最終本会議で全会一致で可決、成立し、来年4月1日に施行されることが決まりました。

この条例は、「手話は言語である」という認識に基づき、ろう者と、ろう者以外の者が、相互に人格と個性を尊重し、共生することができる地域社会の実現を図るために制定されたもので、条文には、手話は聴覚障害のある「ろう者」が心豊かな社会生活を営むために受け継がれ、人格・個性の尊重と共生社会の実現に必要な言語—とする基本理念を掲げました。

更に、手話の理解促進と普及に向けた施策推進を「市の責務」と明文化し、「市民や事業者の役割」としては、市の関連施策への協力に加え、ろう者が利用しやすいサービスの提供や働きやすい環境の整備を求める内容となっています。

市介護障害支援課によると、市内のろう者は440人で、手話通訳者は5人。手話通訳者の人員拡充も課題となっており、市は今後、手話通訳者養成講座や手話劇上映会など具体的な施策を講じる予定だということです。

静岡新聞 平成27年12月15日

手話言語条例をめぐっては、2011年の障害者基本法改正などで手話が言語として位置づけられたことを受け、鳥取県が、2013年10月に独自の条例を全国で初めて制定しました。

全国ろうあ連盟の統計では、10月19日現在で、鳥取・群馬・神奈川の3県と全国19市町が制定済みで、本県では、浜松市も富士宮市と同じ来年4月の施行を目指して手続きを進めているところだ。

静岡県の山口重則健康福祉部長は、「手話を使う方々や関係団体などの意見を聞きながら検討していきたい」と述べ、手話言語条例の制定に向けて検討に着手する考えを示し、手話言語条例を制定している鳥取・神奈川・群馬県の条例の調査とともに、関係団体や学識経験者、市町の意向、要望などを踏まえて検討を進めるとしています。

共生へ「手話の輪」拡大



県内初 市民に啓発 通訳者養成

富士宮市議会11月定例会最終本会議で、全会一致で可決、成立し、来年4月1日に施行されることが決まりました。この条例は、「手話は言語である」という認識に基づき、ろう者と、ろう者以外の者が、相互に人格と個性を尊重し、共生することができる地域社会の実現を図るために制定されたもので、条文には、手話は聴覚障害のある「ろう者」が心豊かな社会生活を営むために受け継がれ、人格・個性の尊重と共生社会の実現に必要な言語—とする基本理念を掲げました。

更に、手話の理解促進と普及に向けた施策推進を「市の責務」と明文化し、「市民や事業者の役割」としては、市の関連施策への協力に加え、ろう者が利用しやすいサービスの提供や働きやすい環境の整備を求める内容となっています。

市介護障害支援課によると、市内のろう者は440人で、手話通訳者は5人。手話通訳者の人員拡充も課題となっており、市は今後、手話通訳者養成講座や手話劇上映会など具体的な施策を講じる予定だということです。

富士宮市手話言語条例成立

浜松市、県も条例検討

平成27年度東部ブロック主催身体障害者相談員研修会

日 時:平成27年10月7日(水) 10:30~15:00

場 所:伊東市観光会館 別館

内 容:「地震津波防災について」

静岡県東部危機管理局地域支援課 主査 石井 孝明 氏

「振り込め詐欺について」

静岡県警伊東警察署生活安全課 山田 弘之 氏

「障害者が使える制度

～介護保険と障害者制度について～」

伊東市役所 高齢者福祉課 課長補佐 齋藤 修 氏

社会福祉課 障害福祉係長 森田 洋一 氏

防災・防犯・福祉制度のそれぞれについて、短い時間で端的に話を聞くことができ、非常に有意義な研修会でした。

振り込み詐欺についての講演では、最近では振り込ませずに受け取りに行ったり、宅配便で送らせたりする手口もあること、また、警察を名乗る場合もあることなど、実際の事例を交えた話を聞くことができ、非常に参考になりました。

詐欺犯罪の場合、取り締まりをしても、次から次へと手口が変わったり、巧妙化してしまうために被害がなかなか減少しないのが現実です。マイナンバー制度がスタートした今、関連する手口が出てくる可能性もあり、正しい知識の習得と注意が必要かもしれません。



歓迎の挨拶をする開催地・伊東市の宮崎会長



研修会の様子

身体障害者福祉センター 楽しい！わくわくコンサート

日 時:平成27年10月20日(火)13:30~15:00

場 所:県総合社会福祉会館 5階 音楽室

参加者:参加者 21名 演奏者 2名 進行 1名

福祉会職員 3名 計27名

身体障害者福祉センターが行う社会生活適応訓練事業として、今年度は「楽しい！わくわくコンサート」を開催しました。

当日は、福祉センター音楽教室の生徒さんをはじめとする音楽好きの皆さんが集まり、にぎやかなコンサートになりました。

まずは、この日の進行役・いつもは音楽教室の講師もお願いしている大川義春先生が、ふたりの演奏者バイオリンの前島正澄さんとピアノの高橋一泰さんを紹介するところから会は和やかにスタートしました。

バイオリン演奏による『宵待草』・『タイスの瞑想曲』・『ユーモレスク』、ピアノでは、『愛の夢』・『トルコ行進曲』・『幻想即興曲』など、私たちでも一度は耳にしたことがあるような名曲の演奏が続き、秋の午後ひとときに心地よい時間が流れました。

生で聴くバイオリンの音色は重厚感があって美しく、心が洗われるようでした。また、独学でマスターしたというピアノも見事で、鍵盤の上を指が踊るように滑り、素晴らしい演奏でした。

合間には、参加者みんなが歌う場面もあり、「声高らかに！」という大川先生の掛け声が続いて、『四季の歌』や『もみじ』を歌ったり、最後には、ピアノ・バイオリンと一緒に『ふるさと』を合唱し、楽しいひとときとなりました。



美しい音色に耳を傾ける参加者

夢いっぱいアートフェスティバル2015 静岡県障害者芸術祭

日 時:平成27年11月28日(土) 10:30~16:00

場 所:静岡駅北口地下広場イベントスペース

静岡県では、障害のある人の芸術及び文化活動を通じての社会参加を促進するとともに、障害のある人に対する県民の理解と認識を深めるため、「静岡県障害者芸術祭」を開催しています。

今年度は、上記の日程で実施され、当日は、授産製品コンクールの表彰式やステージ発表、メッセージを集めて絵を作るハートフルメッセージアートなど様々な催し物が行われました。

また、この障害者芸術祭の参加事業となっている「ハートフルアート展」「愛護ギャラリー展」そして、私たち県身体障害者福祉会が主催している「静岡県障害者文化作品展」の最優秀賞作品を集めたミニ作品展も開催され、熱海市の平野直道さんの「神宮外苑の黄葉」(絵画部門・最優秀賞)とパーキンソン病友の会・榛葉純一郎さんの「感動の旅」(写真部門・最優秀賞)の2作品も会場に展示されました。

ステージ発表では、昨年に引き続き、福祉センターの利用団体である『Angel』の皆さんが参加していただき、ダイナミックな打楽器による演奏を披露しました。

新しくなったお揃いの真っ赤なTシャツに身を包み、楽しそうに演奏する姿に、来場者からは大きな拍手が送られていました。



ミニ作品展コーナーに展示されました



力強い演奏を披露する Angel の皆さん

第30回 静岡県身体障害者うたの広場

日 時:平成27年12月12日(土)10:00~15:30

場 所:県総合社会福祉会館 7階 703会議室

参加者:出演者47名 ゲスト1名


応援・付添・アトラクション出演者等47名 計95名

今年も、年末の恒例行事「うたの広場」が盛大に開催され、県内全域から集まった歌自慢たちが、その歌声を披露しました。

昼休みのアトラクションでは「ぼけナイト」が登場し、懐かしい昭和歌謡と一緒に歌ったり、『われは海の子』の歌詞を『富士山』の節にのせて歌う頭の体操などに苦戦しながらも楽しく挑戦しました。



ぼけナイトのアトラクションでリフレッシュ

 **最優秀賞** 島田市 安藤 晴代 『君の名は』

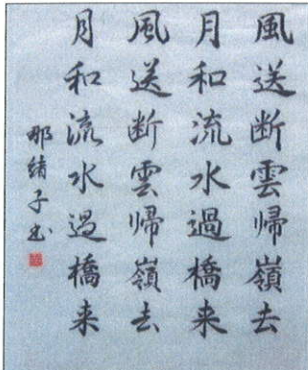
優秀賞	浜松市	山下 国昵	『しぐれ傘』	努力賞	袋井市	石黒 正男	『古城』
(3名)	磐田市	花澤 理恵	『LOVE IS ALL -愛を聴かせて-』	(5名)	藤枝市	磯部 和代	『命咲かせて』
	浜北	松本 くみ子	『保津川ふたり』		裾野市	土屋 幸子	『酒のやど』
					掛川市	松浦 一郎	『京都去りがたし』
熱演賞	裾野市	高村 れい子	『佐渡情話』		浜松市	池上 広海	『長い夜』
(3名)	長泉町	上杉 ミツ	『懐しのブルース』				
	袋井市	山下 チヨ	『紅の舟唄』				

第30回障害者による書道・写真全国コンテストで 杉本ナオ子さん(静岡市)・石川博彬さん(袋井市)が入賞!!

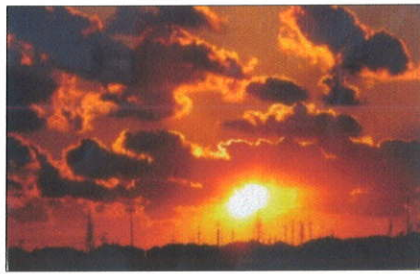
身体障害者福祉センターは、全国障害者総合福祉センター(戸山サンライズ)が主催する「障害者による書道・写真全国コンテスト」の応募取りまとめ協力機関になっています。

今年は、書道教室(福祉センター訓練教室)からの出品2作品を含む書道作品3点と写真2点の計5点を応募し、その中から、2つの作品が見事！入賞しました。(応募総数1,199点(書道部門972点、写真部門227点))

お二人とも11月に開催されました静岡県障害者文化作品展とのW受賞になりました。おめでとうございます！



書道部門 銀賞
『風送断雲帰嶺去』
杉本 ナオ子 さん



写真部門 銅賞
『夕映え』
石川 博彬 さん



1月～3月の行事予定



行事名	開催日	会場
平成27年度 スポーツ部会	1/13(水)	県総合社会福祉会館
第30回静岡県身体障害者 囲碁・将棋・オセロ大会	1/16(土)	県総合社会福祉会館
平成27年度 安全運転部会	1/18(月)	県総合社会福祉会館
平成27年度 文化部会	1/18(月)	県総合社会福祉会館
第23回静岡県身体障害者 グラウンド・ゴルフクラブ交流大会	1/30(土) 予備日1/31(日)	日本平運動公園 多目的広場
第12回静岡県身体障害者ボウリング大会	2/6(土)	ヤングランドボウル
平成27年度静岡県 身体障害者相談員連絡協議会第2回役員会	2/19(金)	県総合社会福祉会館
平成27年度 第3回理事会・第2回評議員会	3/23(水)	県総合社会福祉会館